

# みなみ

R7 竜王南小学校便り

No. 10

2026.1.20 発行  
甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標

「楽しい学校（楽校）の創造」

— やる気 こん気 げん気 —

## 平和な日々を

新年明けましておめでとうございます。本年も、本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

1月9日（金）、3学期の始業式を行いました。冬休み中は、寒くはありましたが、比較的穏やかな日が続いていました。大きな事故などもなく、元気に登校してきた児童を見て嬉しく思いました。始業式の日にはインフルエンザの罹患者もそれほど多くなく良かったのですが、10日～12日の3連休明けには、インフルエンザ等による欠席者が増加しました。これからますます寒さが厳しくなりますので、体調管理には十分留意してほしいと思います。

始業式では、自転車に乗ることを例えにして話をしました。自転車に乗るには前の目標を見てしっかりペダルをこぐと倒れず進むというように、1年間の目標を持って取り組んでほしいと思います。ただし自転車に乗るときは、スピードの出し過ぎには気を付けて安全運転で・・・。

さて、ウクライナとロシアの戦争もなかなか終わらず2月で4年となります。また、世界情勢も心配されるような状況もあります。日本は、戦後80年が経ち、平和な日々を送ることができています。この平和を守り続け、世界から戦争がなくなることを願います。



3学期始業式 元気に校歌を歌いました

## 地方病について学びました

1月19日（月）、昭和町風土伝承館杉浦醫院 館長 出井 寛先生に来校していただき、地方病（日本住血吸虫病）についての授業を行いました。この地域でもかつては多くの人々が苦しめられてきた地方病、どんな病気か、どうやって撲滅したか等、当時の写真や資料を見ながら、先人たちの取組によって終息した歴史を学びました。

## スクールカウンセラーに相談してみませんか

本校では古田SC（スクールカウンセラー）が非常勤で勤務しております。今年度の勤務は、1月27日（火）および2月10日（火）の2回となりますが、まだ予約状況に空きがあります。児童のことや子育て等について、専門家の話を聞いてみてはいかがでしょうか。ご希望がありましたら、担任へご連絡ください。

## ウサギの譲渡について

12月の下旬、飼育委員会からウサギとの触れあいを行うという放送があり、児童が中庭に集まってきました。ウサギの名前は（幸〔こう〕）。皆、幸ちゃんと呼んでいます。

本校では、長年飼育委員会が中心となり、ウサギの飼育をしてきましたが、昨今の猛暑等により外での飼育を継続することが難しい状況となっています。そこで、幸ちゃんがこれからも安心して暮らせるよう、温かく迎えてくださるご家庭を募集しています。譲渡を希望されるご家庭は、本校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。



幸ちゃん おとなしい子です

### 【譲渡条件】

- ・室内での飼育が可能なご家庭
- ・毎日の餌やりや健康管理を継続できるご家庭
- ・家族全員がウサギを飼育することに同意しているご家庭

## 授業参観を開催します ご参加ください

2月13日（金）3・4年授業参観

2月19日（木）5・6年授業参観

2月26日（木）1・2年授業参観

1・2年生の授業参観日が年間行事予定と変更になりました。ご注意ください。

昨年度からコミュニティ・スクールとなり、「チームりゅうなん」としての活動が少しずつではありますが、確実に広がってきていると感じます。特に保護者の方からは、学習行事活動に対して、ボランティアとして参加していただくことが増えています。学校園での野菜や米の栽培に関わってくださっている胞子の会の皆さんも、保護者の方が参加してくれることを喜んでいきます。こういう機会がコミュニティを作っていくのだと思います。授業参観やPTA活動への参加も、忙しく大変なことではありますが、是非、出席していただければと思います。

授業参観終了後、学年総会と学年幹事会を行います。

○学年総会：今年度の反省と来年度の学級役員選出

○学年幹事会：学級役員の中から学年役員選出

## 「ありがとう」の大切さ

第2回学校運営協議会において、道徳性をいかに育むかということで話し合いが行われました。その際に、「ありがとう」という言葉の大切さについて話題になりました。

学校運営協議会后、こんなことを思い出しました。横断歩道を渡ろうとする小学生を見かけ車を止めると、渡り終えた小学生が「ありがとうございました。」と深々と頭を下げてくださいました。運転者としては、当然のことではありますが、とても嬉しい気持ちになったことを覚えています。

甲斐市教育委員会から出されている「甲斐っ子の宝」では、「心を伝える やさしさあふれるありがとう」が令和6年に追加されました。また、本校では、当たり前十か条の第4条に「ありがとう」をはっきり言う」と記されています。感謝の気持ちを持つ心は大切だと考えます。

「ありがとう」が言える、そして、「ありがとう」と言ってもらえるような振る舞いができる児童を学校・地域で育てていければと思います。